

平成28年8月19日



各 位

会社名 株式会社テクノメディカ  
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知  
(コード: 6678、東証第1部)  
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志  
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成24年11月8日に開示いたしました「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,934	21.4	948	74.5	949	74.2	600	100.4
24年3月期第2四半期	3,240	△6.9	543	△13.1	545	△14.3	299	△31.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20,575.77	-
24年3月期第2四半期	10,268.92	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,617	8,574	80.8
24年3月期	11,227	8,230	73.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,574百万円 24年3月期 8,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	8,800.00	8,800.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	25.3	2,000	9.4	2,000	9.2	1,200	11.7	41,095.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	29,200株	24年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	29,200株	24年3月期2Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな景気の回復が見られたものの欧州政府債務問題の深刻化や新興国経済の一段の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策が続いております。これに対し医療機関は様々な取り組みで経営の効率化を進めており、医療現場の効率化につながる機器の導入は、今後も継続するものと思われま

す。このような経営環境の中で、当社では検体検査装置やヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した新型採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,934,750千円(前年同期比21.4%増加)となりました。当第2四半期累計期間は国内市場において販売が好調に推移致しました。また、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比0.4ポイント増加し11.5%となりました。

利益面に関しては、採血管準備装置の利益率向上、及び装置の累計納品台数増加に伴う消耗品の売上増加が寄与し売上総利益は2,057,386千円(前年同期比26.5%増加)、販売費及び一般管理費は1,108,593千円(前年同期比2.4%増加)となり、営業利益は948,793千円(前年同期比74.5%増加)、経常利益は949,734千円(前年同期比74.2%増加)、四半期純利益は600,812千円(前年同期比100.4%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,726,408千円(前年同期比46.3%増加)となりました。

当第2四半期累計期間は国内市場で、平成23年9月から販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心に販売が堅調に推移し、同市場における売上高は1,425,492千円(前年同期比45.4%増加)となりました。

海外市場においては、売上高は300,915千円(前年同期比50.5%増加)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は349,848千円(前年同期比26.3%増加)となりました。

国内市場の売上高は315,274千円(前年同期比45.0%増加)となりました。これはハンディタイプの血液ガス検査装置GASTAT-navi及び据置きタイプの血液ガス検査装置GASTAT-1800シリーズの販売が好調であったこと等によります。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は34,574千円(前年同期比41.8%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は1,762,094千円(前年同期比5.2%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い1,644,426千円(前年同期比4.3%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、装置の累計販売台数の増加に伴い117,668千円(前年同期比18.4%増加)となりました。

##### ・その他

当第2四半期累計期間において、その他の売上高は96,399千円(前年同期比10.2%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は10,617,119千円となり、前事業年度末比610,732千円減少しました。これは主に仕入債務の支払、配当金の支払及び法人税等の納付等により現金及び預金が25,109千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が305,092千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,042,552千円となり、前事業年度末比954,585千円減少しました。これは主に、平成24年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が736,041千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が197,993千円減少、銀行借入金の返済により短期借入金が100,000千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は8,574,566千円となり、前事業年度末比343,852千円増加しました。これは配当金の支払が256,960千円、四半期純利益が600,812千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は80.8%となり、前事業年度末比7.5ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は3,101,435千円となり、前年同四半期累計期間比246,168千円の増加(前事業年度末比85,449千円の減少)となりました。

営業活動の結果、321,895千円の資金増加(前年同四半期累計期間は449,869千円の資金増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が949,734千円、売上債権の減少額が305,092千円になった一方、仕入債務の減少額736,041千円、法人税等の支払額524,660千円があったことによるものであります。

投資活動の結果、50,693千円の資金減少(前年同四半期累計期間は8,945千円の資金増加)となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出60,340千円があったことによるものであります。

財務活動の結果、356,652千円の資金減少(前年同四半期累計期間は221,764千円の資金減少)となりました。これは、配当金の支払額256,652千円、短期借入金の返済による支出100,000千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付の平成24年3月期決算短信で発表した平成25年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,662,957	4,637,847
受取手形	834,092	822,891
売掛金	<u>2,150,001</u>	<u>1,856,110</u>
商品及び製品	<u>1,797,618</u>	<u>1,526,036</u>
仕掛品	65,339	65,495
原材料及び貯蔵品	68,357	78,337
前払費用	7,001	14,777
繰延税金資産	<u>84,301</u>	<u>71,932</u>
その他	1,464	<u>6,381</u>
貸倒引当金	<u>△7,621</u>	<u>△6,133</u>
流動資産合計	<u>9,663,513</u>	<u>9,073,676</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	873,153
減価償却累計額	<u>△384,372</u>	<u>△398,566</u>
建物(純額)	<u>468,038</u>	<u>474,587</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,898</u>	<u>△2,975</u>
構築物(純額)	<u>1,179</u>	<u>1,102</u>
機械及び装置	—	8,500
減価償却累計額	—	<u>△202</u>
機械及び装置(純額)	—	<u>8,297</u>
工具、器具及び備品	55,489	62,627
減価償却累計額	<u>△46,067</u>	<u>△48,784</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>9,421</u>	<u>13,843</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,265,966</u>	<u>1,285,157</u>
無形固定資産		
特許権	3,375	3,034
商標権	1,266	1,166
ソフトウェア	705	248
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>6,524</u>	<u>5,627</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	—
繰延税金資産	<u>129,625</u>	<u>122,393</u>
保険積立金	106,328	83,847
差入保証金	30,877	38,906
貸倒引当金	<u>△20,649</u>	<u>—</u>
投資その他の資産合計	<u>291,847</u>	<u>252,657</u>
固定資産合計	<u>1,564,338</u>	<u>1,543,442</u>
資産合計	<u>11,227,852</u>	<u>10,617,119</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,621,256	885,214
短期借入金	100,000	—
未払金	120,172	138,326
未払法人税等	532,326	334,333
未払消費税等	39,954	37,803
未払費用	49,512	72,032
前受金	11,970	75,265
預り金	7,596	8,171
賞与引当金	103,000	104,684
役員賞与引当金	24,000	24,000
その他	36,417	19,675
流動負債合計	2,646,205	1,699,506
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,505	216,505
製品保証引当金	132,353	117,423
受入保証金	9,072	9,117
固定負債合計	350,932	343,045
負債合計	2,997,137	2,042,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	6,192,988	6,536,840
株主資本合計	8,230,714	8,574,566
純資産合計	8,230,714	8,574,566
負債純資産合計	11,227,852	10,617,119



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,240,249	3,934,750
売上原価	1,614,068	1,877,364
売上総利益	1,626,180	2,057,386
販売費及び一般管理費	1,082,416	1,108,593
営業利益	543,764	948,793
営業外収益		
受取利息	1,073	712
その他	8,163	541
営業外収益合計	9,236	1,254
営業外費用		
支払利息	597	313
消費税差額	7,097	—
営業外費用合計	7,694	313
経常利益	545,306	949,734
税引前四半期純利益	545,306	949,734
法人税、住民税及び事業税	234,621	329,320
法人税等調整額	10,832	19,601
法人税等合計	245,453	348,921
四半期純利益	299,852	600,812

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	545,306	949,734
減価償却費	19,640	18,086
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,150	7,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,786	△22,137
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,000	1,684
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△12,146	△14,930
受取利息及び受取配当金	△1,073	△712
支払利息	597	313
売上債権の増減額 (△は増加)	537,404	305,092
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	38,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,625	261,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	△302,282	△736,041
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,590	△15,161
その他の負債の増減額 (△は減少)	40,342	53,629
小計	822,509	846,157
利息及び配当金の受取額	1,073	712
利息の支払額	△597	△313
法人税等の支払額	△373,115	△524,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,869	321,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,829	△60,340
定期預金の払戻による収入	160,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,354	△7,274
差入保証金の差入による支出	△674	△14,451
差入保証金の回収による収入	1,803	6,136
保険積立金の解約による収入	—	25,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,945	△50,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△221,764	△256,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,764	△356,652
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237,050	△85,449
現金及び現金同等物の期首残高	2,618,216	3,186,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,855,267	3,101,435

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,678	8.0	789	22.5	790	22.2	506	26.1
24年3月期第2四半期	3,404	0.3	645	19.3	647	19.2	401	13.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17,358.73	-
24年3月期第2四半期	13,765.53	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,145	9,321	83.6
24年3月期	12,004	9,071	75.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,321百万円 24年3月期 9,071百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	8,800.00	8,800.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	25.3	2,000	9.4	2,000	9.2	1,200	11.7	41,095.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	29,200株	24年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	29,200株	24年3月期2Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな景気の回復が見られたものの欧州政府債務問題の深刻化や新興国経済の一段の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策が続いております。これに対し医療機関は様々な取り組みで経営の効率化を進めており、医療現場の効率化につながる機器の導入は、今後も継続するものと思われま

す。このような経営環境の中で、当社では検体検査装置やヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した新型採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,678,549千円(前年同期比8.0%増加)となりました。当第2四半期累計期間は国内市場において検体検査装置の販売が好調に推移致しました。一方、海外市場では、円高等の影響から採血管準備装置および検体検査装置の販売が低調に推移致しました。また、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比3.5ポイント低下し7.7%となりました。

利益面に関しては、採血管準備装置の利益率向上、及び装置の累計納品台数増加に伴う消耗品の売上増加が寄与し売上高総利益は1,909,860千円(前年同期比10.5%増加)、販売費及び一般管理費は1,119,921千円(前年同期比3.3%増加)となり、営業利益は789,938千円(前年同期比22.5%増加)、経常利益は790,879千円(前年同期比22.2%増加)、四半期純利益は506,874千円(前年同期比26.1%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,473,906千円(前年同期比7.3%増加)となりました。

当第2四半期累計期間は国内市場で、平成23年9月から販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心に販売が堅調に推移し、同市場における売上高は1,342,900千円(前年同期比16.7%増加)となりました。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は131,006千円(前年同期比41.2%減少)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は349,848千円(前年同期比26.3%増加)となりました。

国内市場の売上高は315,274千円(前年同期比45.0%増加)となりました。これはハンディタイプの血液ガス検査装置GASTAT-navi及び据置きタイプの血液ガス検査装置GASTAT-1800シリーズの販売が好調であったこと等によります。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は34,574千円(前年同期比41.8%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は1,762,094千円(前年同期比5.2%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い1,644,426千円(前年同期比4.3%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、装置の累計販売台数の増加に伴い117,668千円(前年同期比18.4%増加)となりました。

##### ・その他

当第2四半期累計期間において、その他の売上高は92,699千円(前年同期比17.3%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は11,145,641千円となり、前事業年度末比858,937千円減少しました。これは主に仕入債務の支払、配当金の支払及び法人税等の納付等により現金及び預金が25,109千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が698,077千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は1,824,233千円となり、前事業年度末比1,108,852千円減少しました。これは主に、平成24年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が781,548千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が265,428千円減少、銀行借入金の返済により短期借入金が100,000千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は9,321,408千円となり、前事業年度末比249,914千円増加しました。これは配当金の支払が256,960千円、四半期純利益が506,874千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は83.6%となり、前事業年度末比8.0ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は3,101,435千円となり、前年同四半期累計期間比246,168千円の増加(前事業年度末比85,449千円の減少)となりました。

営業活動の結果、321,895千円の資金増加(前年同四半期累計期間は449,869千円の資金増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益が790,879千円、売上債権の減少額が698,077千円になった一方、仕入債務の減少額781,548千円、法人税等の支払額524,660千円があったことによるものであります。

投資活動の結果、50,693千円の資金減少(前年同四半期累計期間は8,945千円の資金増加)となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出60,340千円があったことによるものであります。

財務活動の結果、356,652千円の資金減少(前年同四半期累計期間は221,764千円の資金減少)となりました。これは、配当金の支払額256,652千円、短期借入金の返済による支出100,000千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付の平成24年3月期決算短信で発表した平成25年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。



3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,662,957	4,637,847
受取手形	834,092	822,891
売掛金	<u>3,392,312</u>	<u>2,705,436</u>
商品及び製品	<u>1,326,196</u>	<u>1,205,681</u>
仕掛品	65,339	65,495
原材料及び貯蔵品	68,357	78,337
前払費用	7,001	14,777
繰延税金資産	<u>94,788</u>	<u>79,923</u>
その他	1,464	<u>323</u>
貸倒引当金	<u>△36,620</u>	<u>△32,843</u>
流動資産合計	<u>10,415,890</u>	<u>9,577,870</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	873,153
減価償却累計額	<u>△384,372</u>	<u>△398,566</u>
建物(純額)	<u>468,038</u>	<u>474,587</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,898</u>	<u>△2,975</u>
構築物(純額)	<u>1,179</u>	<u>1,102</u>
機械及び装置	—	8,500
減価償却累計額	—	<u>△202</u>
機械及び装置(純額)	—	<u>8,297</u>
工具、器具及び備品	55,489	62,627
減価償却累計額	<u>△46,067</u>	<u>△48,784</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>9,421</u>	<u>13,843</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,265,966</u>	<u>1,285,157</u>
無形固定資産		
特許権	3,375	3,034
商標権	1,266	1,166
ソフトウェア	705	248
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>6,524</u>	<u>5,627</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	—
繰延税金資産	<u>153,976</u>	<u>146,721</u>
保険積立金	106,328	83,847
差入保証金	30,877	38,906
長期未収入金	<u>68,400</u>	<u>68,400</u>
貸倒引当金	<u>△89,049</u>	<u>△68,400</u>
投資その他の資産合計	<u>316,197</u>	<u>276,985</u>
固定資産合計	<u>1,588,688</u>	<u>1,567,771</u>
資産合計	<u>12,004,579</u>	<u>11,145,641</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,603,824	822,276
短期借入金	100,000	—
未払金	120,172	150,611
未払法人税等	532,326	266,897
未払消費税等	39,954	30,688
未払費用	49,512	72,032
預り金	7,596	8,171
賞与引当金	103,000	104,684
役員賞与引当金	24,000	24,000
その他	1,767	1,825
流動負債合計	2,582,153	1,481,187
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,505	216,505
製品保証引当金	132,353	117,423
受入保証金	9,072	9,117
固定負債合計	350,932	343,045
負債合計	2,933,085	1,824,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	7,033,767	7,283,682
株主資本合計	9,071,493	9,321,408
純資産合計	9,071,493	9,321,408
負債純資産合計	12,004,579	11,145,641

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,404,974	3,678,549
売上原価	1,675,977	1,768,689
売上総利益	1,728,997	1,909,860
販売費及び一般管理費	1,083,890	1,119,921
営業利益	645,106	789,938
営業外収益		
受取利息	1,073	712
その他	1,699	541
営業外収益合計	2,772	1,254
営業外費用		
支払利息	597	313
営業外費用合計	597	313
経常利益	647,282	790,879
税引前四半期純利益	647,282	790,879
法人税、住民税及び事業税	234,621	261,884
法人税等調整額	10,707	22,119
法人税等合計	245,328	284,004
四半期純利益	401,953	506,874

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	647,282	790,879
減価償却費	19,640	18,086
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,150	7,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,260	△24,427
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,000	1,684
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△12,146	△14,930
受取利息及び受取配当金	△1,073	△712
支払利息	597	313
売上債権の増減額 (△は増加)	425,753	698,077
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	38,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47,283	110,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	△302,282	△781,548
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,590	△9,103
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,364	12,304
小計	822,509	846,157
利息及び配当金の受取額	1,073	712
利息の支払額	△597	△313
法人税等の支払額	△373,115	△524,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,869	321,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,829	△60,340
定期預金の払戻による収入	160,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,354	△7,274
差入保証金の差入による支出	△674	△14,451
差入保証金の回収による収入	1,803	6,136
保険積立金の解約による収入	—	25,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,945	△50,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△221,764	△256,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,764	△356,652
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237,050	△85,449
現金及び現金同等物の期首残高	2,618,216	3,186,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,855,267	3,101,435

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。